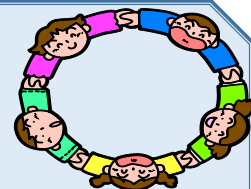


みんなそろって 輪になって



◇本年度の重点目標 ～笑顔いっぱい～
できた！わかった！がんばった！自信がついた！

第10号 令和7年1月23日

3学期も「笑顔」と「自信」！ 今年は巳年～新たな自分を思い描いて～

校長 石山 輝



20日間の冬休みが終わり、3学期が始まりました。全国的にはインフルエンザや新型コロナ等が猛威を振るっており、学校の再開により、子どもたちの交流が活発になることから、今後の感染拡大が懸念されております。校内では、手洗いの徹底や教室の換気等、感染予防対策に努めていきますので、ご家庭におきましては、お子様の体調に異変がある

時は無理をせずに、ゆっくりと休養に努めさせるなど、感染拡大の防止に向けてご理解とご協力をお願い致します。

さて、令和7年（2025年）がスタートしました。先週の始業式では、今年の干支にちなんで次のような話をしました。

今年の干支は「巳（み）年」です。巳年の巳は、動物で言うと「へび」ですね。巳（み）年はどういう年になるのかなと、校長先生が調べたところ、「へび」というのは「脱皮」と言って、自分の表面の皮が古くなると、それを脱ぎ捨てて新しい皮になり、それを繰り返しながら生きていくそうです。そのようなことから、巳（み）年は、「新しい自分に生まれ変わる」「幸せな未来をつかむ」という意味をもっているそうです。



ですから、心機一転、「こんな自分になりたい」といった新たな自分を思い描いて過ごしていくと、とてもいいと思います。つまり、2学期の終業式でお話した「挑戦」ですね。今年一年、新たな自分、新たなことに「挑戦する一年」にしてみたらいいかもしれません。

これは、勿論、勉強でも運動でも自分の好きな趣味のことでいいですし、新たな友達を増やしていきたいということでもいいと思います。ですが、「新たな自分」を思い描いていくためには、今の自分がどうなのか、今の自分のよいところ、直したいところをしっかりと考えてみることも大切かもしれません。それぞれが、自分をしっかりと見つめ、そして新たな自分、理想となる自分を思い描き、それに向かって、様々な挑戦を重ねる一年になればいいですね。

3学期はあっという間です。6年生は卒業に向けた取組も始まっています。そのほかの学年も一年間のまとめとして、それぞれがやるべきことにしっかりと取り組み、3学期もまた「笑顔いっぱい」で「自信がついた」と思えるような毎日にしていきましょう……。

始業式の翌日からはスキー学習が始まり、保護者の方々の学習支援をいただいております。また、毎年子どもたちが楽しみにしているグラウンドでのバナナボート体験も今週、来週と行われます。3学期も多くの皆様方のご支援をいただきながら、教育活動を進めていけることに改めて感謝申し上げます。

学年末学校評価結果 その1

2学期末に実施しましたアンケートにご協力いただきありがとうございました。結果の概要をお知らせします。

【評価】 肯定的評価 (4+3) の合計

A 80%~100% B 60%~79% C 40%~59% D ~40%

自分の取組の振り返り

今回は、子どもの姿を評価

子ども像 重点	①求める子どもの姿 総合	学年末評価					
		子ども		教職員		保護者	
		達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価
やさしい子 (徳)	1 相手の気持ちを考える	94.2	A	95.7	A	90.9	A
	2 明るい挨拶	90.8	A	95.7	A	78.2	B
	3 友だちと仲良くしている	96	A	100	A	93.6	A
粘り強く学ぶ子 (知)	4 勉強がよくわかる	93.1	A	82.6	A	86	A
	5 学習する習慣	85	A	91.3	A	71	B
	6 学習や活動に臨む姿勢	90.2	A	91.3	A	49	C
	7 粘り強さ	91.9	A	95.5	A	72	B
	8 体験活動(体と心で感じ、学んでいく活動)			91.3	A	93	A
進んで体を鍛える子 (体)	9 遊びや運動の習慣化	91.3	A	95.7	A	76	B
	10 規則正しい生活	83.8	A	95.7	A	63	B
	11 健康への意識	95.4	A	100	A	76	B
	12 安全への意識	97.1	A	100	A	95	A

教職員 達成率 評価	②重点目標達成のための具体的方策	
	達成率	評価
100	A	1 組織マネジメント 学校運営や教育活動の改善に向けて、各分掌等がチームとして協働して取り組んでいる。
100	A	2 カリキュラム・マネジメント カリキュラム・マネジメントの視点に基づき、教科横断的な内容の組み立て、評価と改善、地域の人的・物的な教育資源の活用ができた。
100	A	3 学年・学級経営 子ども一人一人の姿容や努力の過程を認め、励まし、自尊感情を高める働きかけを充実させた。
95.7	A	4 課題解決型研修 ICT環境を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を推進することができた。
95.5	A	5 経営の基本 思考力・判断力・表現力を育成する授業を心掛けた。
100	A	6 教育環境整備 子どもの机上やロッカー、靴箱など学習環境の整理整頓のため統一した指導を充実させた。
100	A	7 危機管理 災害時の様々な場面を想定し、十分な備えができた。
100	A	8 学校事務 円滑な学校運営に向けた日常的な課題や要望の把握に努めた。
65.2	B	9 業務改善 業務改善や時間外勤務の削減を推進することができた。
95.7	A	10 幼小・小小連携 小中一貫 小中一貫教育推進委員会の各部会を中心として、各校の情報共有が図られている。
95.7	A	11 国際理解教育 外国語専科と共に学習過程、評価について学び、学習指導への理解を深めることができた。
100	A	12 指導の基本 情報教育 タブレット端末を積極的に活用し、児童の情報活用能力の向上に努めた。
100	A	13 総合的な学習の時間 学年や単元のつながりを意識した指導を行うことができた。
100	A	14 特別支援教育 校内及び関係機関等との連携により、児童の困難さに応じた支援に努めることができた。
100	A	15 道徳教育 自分や友達のよさを実感できる場の設定と行動を行っている。

学校経営方針に対する教職員の取組自己評価

2月の行事予定

- 3日(月) 全校集会 下校指導(民生委員)
SOSの出し方教室(6年)
- 4日(火) 下校指導(民生委員)
- 5日(水) 新1年一日入学・説明会
PTA総務部会
- 6日(木) 子ども議会(6年発表・5年傍聴)
- 7日(金) たてわり班活動
- 10日(月) スキー(1年)
- 13日(木) 中学校入学説明会
新1年授業体験(1・5年)

- 14日(金) 委員会 フッ化物洗口
- 17日(金) たてわり班活動
- 19日(水) 参観日(2・4・6年)
- 21日(金) 読み聞かせ 義経会役員選挙
- 25日(火) 学校運営協議会
- 26日(水) 参観日(1・3・5年)
代表委員会
- 27日(木) 町P連家庭教育講演会
- 28日(金) フッ化物洗口

学年末学校評価結果 その2

全国学力・学習状況調査の質問紙と同内容で、全校児童が自分自身を振り返った結果（R6町教育行政執行方針を受けて）

学校や家庭での取組に対する教職員と保護者による評価

③町教育行政執行の柱に関する内容		子ども	
		達成率	評価
1	自分にはよいところがある	90	A
	先生は、あなたのよいところを認めてくれている	93	A
	将来の夢や目標をもっている	90	A
	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある	79	B
2	学校に行くのは楽しいと思う	80	A
	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う	80	A
3	学級の友達との話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる	87	A
	外国語の勉強がわかる	86	A

④特設		教職員		保護者	
		達成率	評価	達成率	評価
1	教育活動のDX化	100	A	89	A
2	いじめ防止	100	A	89	A
3	地域との連携	100	A	96	A
4	メディアとのつきあい方			79	B
5	小中連携	95.7	A		

どの項目も概ね良好で、「知・徳・体」のバランスもとれていました。中間評価に引き続き「1相手の気持ちを考える」「3友だちと仲良くしている」「11安全への意識」、今回新たに「8体験活動」は、子どもの振り返り自己評価、教職員・保護者の評価共に、90%を超えました。また、前期の課題であった「学習習慣の定着」については、中間評価と数値はほぼ変わりませんが、児童の頑張ったことへの自由記述の中で、「自主学習」が多くありました。

「メディアとの付き合い方」については、6年生の防犯教室に5年生も参加したり、保護者へ参加を呼びかけたりしましたがB評価でした。他に、教職員の働き方改革に関わる「業務改善」、保護者評価の「学習や活動に臨む姿勢」（家庭での学習準備・片付け整理整頓）も含め、更なる検討を踏まえ、次年度へ向けての改善や情報提供を図ります。

◆文章記述より

○継続したいよさ（教職員・保護者記述）

次のよさを保護者や地域の方々と共有したいと考えます。

- ・仲間や下の学年への優しい関わりや気遣い（異年齢と関わる機会）
- ・体験的な学習（教職員・保護者共に）※中間評価でも記述がありました。
- ・ICT活用能力の向上 ・生徒指導に関わる情報の全体での共有と迅速な対応
- ・地域人材の積極的な活用 ・個別に児童と話ができる環境整備
- ・中学校教員による専科指導 ※単年度の加配のため次年度の配置は未決定です。

△課題（保護者記述）

校内各担当による2学期や次年度へ向けての話し合いの際に、教職員による振り返りと同様に検討材料とさせていただきます。

- ・タブレット端末の活用と記述のバランス（今は様々な方法を模索している過渡期です）
- ・マチコミの欠席連絡方法の改善 ・運動会の種目 ・学校外の教育資源の情報提供 等
- ・給食の時の黙食（会食の機会としていますが、インフルエンザ感染拡大期や学級により食べる時間確保のため一定時間の黙食は、実施することがありますのでご了承ください。）